

電子入札コアシシステムの開発・稼働状況

139団体が現在開発中

電子入札コアシシステム開発コンソーシアムによると、6日現在、コアシシステム採用320団体のうち181団体が運用している。その多くは17年度以降に稼働を開始。17年度は埼玉県や横浜市など24県7政令指定都市を含む140団体、18年度は神戸市から2団体が稼働を開始した。また、愛知県など139団体が現在、開発段階にある。

くはやはり共同利用。静岡県、大阪電子自治体推進協議会、岐阜県市町村共同利用型電子入札システム運営等協議会では、すでに稼働中の団体を除いたすべての団体が開発段階に入っている。

建設機械施工技術検定(学科)

来月25、26日、熊本市で

建設機械施工技術検定(学科)の学科試験は、建設機械協会、日本機械土工協会は5月25、26日、熊本市の火の国ハイツで18年度「建設機械施工技術検定試験(学科)受験準備講習会」を開く。

受講料は1万7500円。定員は120人。申し込みは講習日の7日前までだが、定員になり次第締め切る。

講習では、初日に土木工学一般(共通)、建設機械一般(同)、関係法令(同)、トラクタ系建設機械(第1種)、ショベル系建設機械(第2種)、2日にモータグレーダ(第3種)、締固め建設機械(第4種)、舗装用建設機械(第5種)、基礎工事用建設機械(第6種)について学ぶ。

申し込み、問い合わせは、建設機械協会九州支部(☎092・481・0951 FAX451・1064)まで。

OSがこしま 建築家と職人たちが等々つくる家でセミナー 23日、鹿児島市と肝付町で

オープンシステムネットワーク会議・鹿児島島(OSがこしま)は23日午後1時30分から、鹿児島市のかこしま県民交流センターで「建築家と職人たちが等々つくる家」と題したセミナーを開く。

6月1日、福岡市で

建築保全センターは、17年6月に定めた「官庁施設の環境保全性に関する診断・改修計画基準」(グリーン診断・改修計画基準)を正しく理解し、もたらすための講習会を開く。

環境負荷低減効果の高い改修計画の立案方法について説明。基準の対象は官庁施設だが、自治体や民間施設にも適用が可能なため、施設の建築や管理に携わる人たちの参加を広く呼び掛けている。

受講料はテキスト代(8000円、A4版)込みで1人1万6000円。国と地方公共団体の職員、後援・協賛団体の会員などは同1万5000円。申し込み方法は下の詳細はホームページ(Url: www.bmc.or.jp)に掲載。

きょう、鹿児島市で 鹿児島労働局

鹿児島労働局(今川隆志局長)はきょう14日午後1時30分から、鹿児島市のKKRかこしま敬天閣で18年度における労働災害防止対策の徹底に向けて労働災害防止団体等代表者会議を開く。

総会案内

県建設コンサルタント協会 27日

県建設コンサルタント協会(岩井健会長)は27日午後2時から、鹿児島市の鹿児島県東急ホテルで18年度通常総会を開く。

来月2日 鹿児島市職業訓練協会

鹿児島市職業訓練協会(森山清隆会長)は5月2日午後5時から、鹿児島市の鹿児島県東急インで18年度通常総会を開く。

建設業のための戦略転換

20日、セミナー

(株)ベンチャー・リンクは20日午後4時から、鹿児島市のパレスイン鹿児島で建設業のための戦略転換と題した「経営トップセミナー」を開く。同日は、公共事業減少や構造計算偽造問題に端を発する諸問題など建設業を取り巻く環境が激変していることなどをチャンスに変え、各社の取るべき戦略などを具体的に説明する。参加費は3000円。

ポイントとして①現在の建設業の課題とは

②戦略転換を考えるステップについて③今後の環境はどのように変化するのか④今後の環境下で成功するビジネスとは⑤成功するビジネスとは⑥成功要因確保の方向などを解説する。

問い合わせは、ベンチャー・リンク福岡支店(☎092・482・2041)担当・菊地、幸島氏まで。

財政負担の軽減に

日本PFI協会

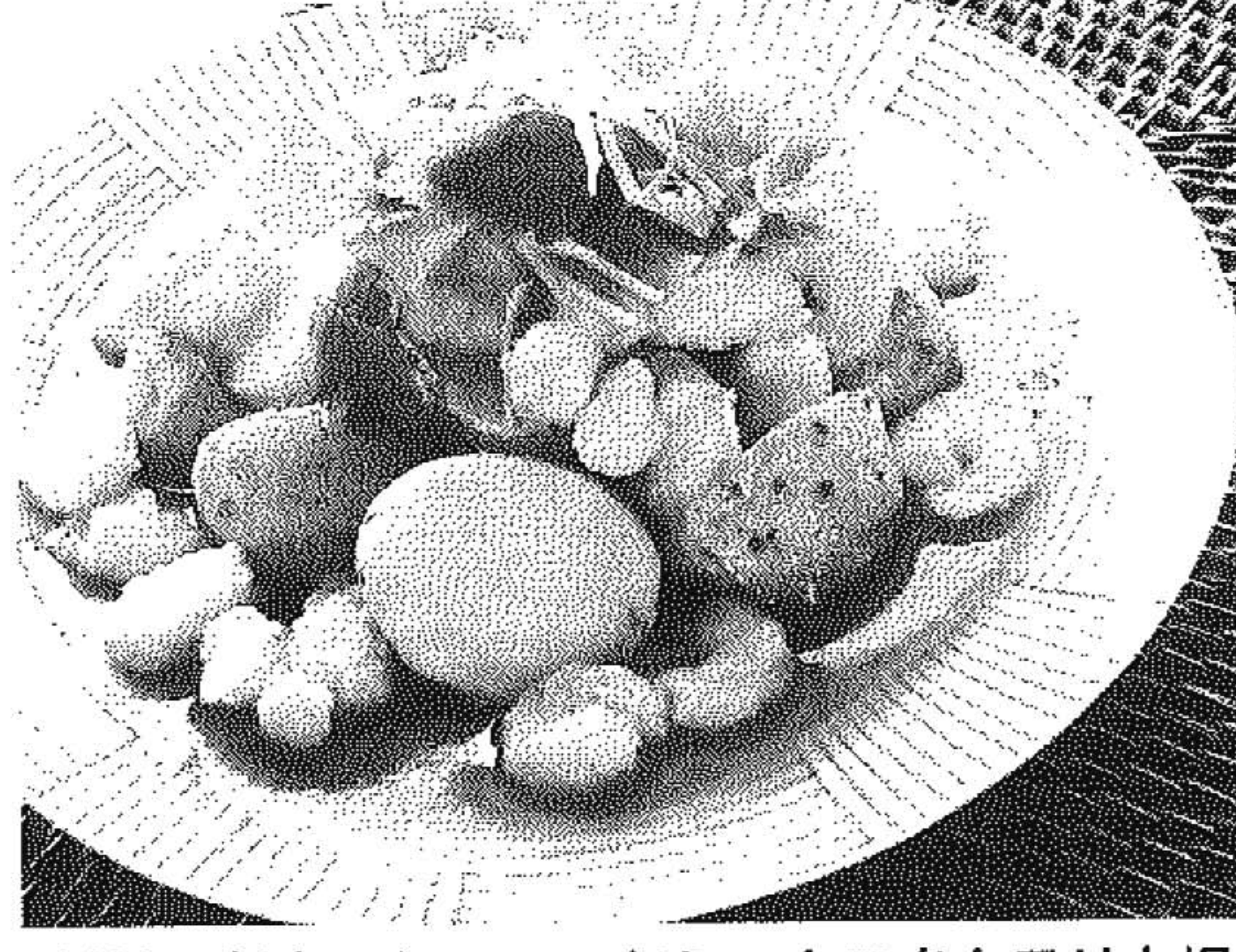
民間発案 第1号を行政が受付け

日本PFI協会(植田和男理事長)は11日、昨年7月に創設した「民間発案支援事業」の第1号の発案が地方自治体によって受け付けられた、と発表した。第1号は、北海道内企業を中心としたグループによる斎場整備のPFI事業提案。協会が発案者となった提案を、北海道3町村が6日にPFI法に基づいて正式に受け付けた。協会では、支援事業は行政、地元企業双方にとってメリットが大きいと説明、18年度内にさらに4件程度発案したい考えだ。

民間発案支援事業は、民間発案者(植田和男理事長)は11日、昨年7月に創設した「民間発案支援事業」の第1号の発案が地方自治体によって受け付けられた、と発表した。第1号は、北海道内企業を中心としたグループによる斎場整備のPFI事業提案。協会が発案者となった提案を、北海道3町村が6日にPFI法に基づいて正式に受け付けた。協会では、支援事業は行政、地元企業双方にとってメリットが大きいと説明、18年度内にさらに4件程度発案したい考えだ。

民間発案者(植田和男理事長)は11日、昨年7月に創設した「民間発案支援事業」の第1号の発案が地方自治体によって受け付けられた、と発表した。第1号は、北海道内企業を中心としたグループによる斎場整備のPFI事業提案。協会が発案者となった提案を、北海道3町村が6日にPFI法に基づいて正式に受け付けた。協会では、支援事業は行政、地元企業双方にとってメリットが大きいと説明、18年度内にさらに4件程度発案したい考えだ。

民間発案者(植田和男理事長)は11日、昨年7月に創設した「民間発案支援事業」の第1号の発案が地方自治体によって受け付けられた、と発表した。第1号は、北海道内企業を中心としたグループによる斎場整備のPFI事業提案。協会が発案者となった提案を、北海道3町村が6日にPFI法に基づいて正式に受け付けた。協会では、支援事業は行政、地元企業双方にとってメリットが大きいと説明、18年度内にさらに4件程度発案したい考えだ。



今夜の簡単レシピ

新じゃがの甘酢あんかけ

新じゃがと、シーフードミックスをカラリと揚げて、さっぱりした甘酢あんをかけた旬の1品。

◎材料(4人分)

- 新じゃが 12個
- シーフードミックス(冷凍) 1袋
- 三つ葉・しょうが 各適宜
- a(酒大さじ1 塩小さじ1/2)
- b(水1カップ しょうゆ 砂糖各大さじ3 大さじ2 かたく 小さじ2)
- かたくり粉・揚げ油各適宜
- ※じゃがいもの皮が固くて気になる場合は最初に皮を除いてもよい。または揚げたあとでも可。

- 1、新じゃがは皮をたわしなどでこすり、半分に切って水にさらす。
- 2、シーフードミックスは解凍して水気を拭き、aで下味をつける。
- 3、揚げ油を火にかけて、すぐに水気を切った1を入れて、竹串ですくと刺せるようになるまでじっくり揚げる。
- 4、3のあとに、水気を切った2にかたくり粉をまぶして入れて揚げる。
- 5、鍋にbを入れて煮立て、器に盛った34にかけ、ざく切りの三つ葉と針しょうがを飾る。